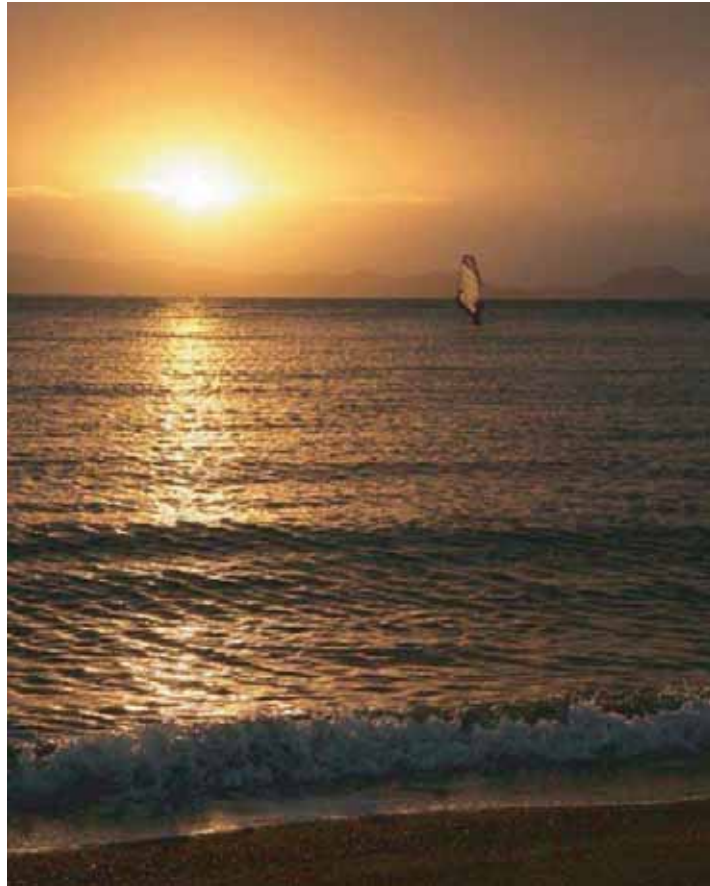


# 恵友

医療法人恵友会 霧ヶ丘つだ病院  
 ほっとホーム霧ヶ丘  
 恵友会デイサービスセンター  
 訪問看護・ヘルパー  
 ケアプランステーション



## 今号の恵友

- ・第20回 日本呼吸ケアリハビリテーション学会
- ・睡眠歯科外来を再開しました
- ・在宅酸素友の会 バスハイク報告
- ・メディア出演情報
- ・ウォークラリーで優勝しました
- ・地域交流活動報告
- ・昭和大学との共同研究
- ・当院を最近訪問された方々
- ・全日本マナー検定上級資格取得
- ・連携室だより

### 『夕日とヨットと潮風と』

写真は山口県山陽小野田市にある焼野海岸からの一枚。  
 焼野海岸は「日本の夕日100選」に認定されており、天気の良い夕暮れ時には橙色が辺り一面を包み込む壮大な景色を眺めることができます。この場所へ来ると気持ちがリラックスでき、時間がゆったりと流れていく感覚を味わうことができます。《撮影 廣畑 正己》



# 第20回 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会 in 長崎

2010年10月1日～2日、津田 徹院長がランチョンセミナーとワークショップを、スタッフ8名が一般演題で発表をしました。

今回は、学会で発表をした各演題の概要をまとめてみました。



## ● 津田 徹 ランチョンセミナー 1 COPD患者さんの Good Days をめざして —COPD Assessment Test (CAT) の紹介と活用—

COPD 患者さんの状態 (QOL) を把握するため、簡便な質問票が開発された。これによって適切な治療介入が可能となり、COPD 患者の Good Days を獲得する道筋を作る強力なツールとなることが期待される。

## ● 津田 徹 ワークショップ 地域呼吸器専門病院を中心とした呼吸ケア ネットワークの試み

地域での顔の見える連携をスタートするため、福岡 COPD 研究会では、地域の大学、基幹病院、呼吸器専門病院・診療所とプライマリ Dr. 間での連携を開始した。また行政や企業と協力して呼吸ケアにおける研修や講演会、勉強会や未成年への防煙教室などを開催し、禁煙指導や COPD の早期発見へとつながるよう地域ネットワークの拡充に努めている。

## ● 島内 真基子 (医師) COPDにおける睡眠呼吸障害に関する検討

COPD では肺が過膨張となり横隔膜が平低化するため、REM 睡眠時には浅く早い呼吸となり低酸素血症を起こしやすいとされる。そこで COPD 患者の終夜 PSG 検査を 15 例行い睡眠呼吸障害について検討した結果、AHI が低くても desaturation が著しい症例が認められた。よって日中の眠気や不眠を訴える COPD 患者には睡眠呼吸障害も念頭において検査をすすめる必要があると同時に、潜在する他疾患の検出のためにも終夜 PSG 検査を積極的に行う必要がある。

## ● 中山 初美 (看護部長) 施設における携帯用小型酸素ボンベに関する 調査結果

酸素が必要な患者割合は、200、300 床以上の大型基幹病院よりも 100 床未満の施設に多いことがわかった。しかし、携帯用小型酸素ボンベを患者が持ち運ぶための道具 (ボンベキャリーや調整器) は各医療機関の負担となっており、負担軽減が今後の課題である。

## ● 宗 まりこ (管理栄養士) COPD 患者における簡易栄養状態評価ツール (Mini Nutritional Assessment) の有用性につ いての検討

当院では COPD 患者の栄養状態評価として主に %IBW (標準体重に対する現在の体重の割合) で評価を行ってきたが、今回初めて点数式の簡易栄養状態評価ツール (MNA) を用いてそれが有用であるかを試みた。日本の COPD 患者は痩せている方が多く、早い時期での栄養介入のポイントを検討していく。

## ● 小川 さわ (栄養士) デイサービスにおける在宅酸素療法患者の 継続率と体重変化

デイサービスでは、病態や嗜好に合わせた昼食の提供と、「食」への意識向上のための集団栄養指導を行っているため、利用者の喫食率は 100% である。在宅酸素療法患者は急性増悪を来すことが多いが、入退院を繰り返しながらでもデイサービスが継続できた患者の継続率は高く、体重減少も非継続群と比較すると抑えられていた。自宅に閉じこもりがちな在宅酸素療法患者にとって、デイサービスでの食事の提供と栄養ケアは大切な要素であることが示唆された。

● 金田 瑠美（理学療法士）  
COPD患者の不安・抑うつ状態を呼吸機能、NRADL、SWTにおいて予測することは可能か？

COPD患者が活動の制限や身体機能の低下から起こす不安・抑うつ状態を、呼吸機能や日常生活の状態などの測定値から予測できるかを検討した。不安・抑うつ状態アリ群とナシ群とで測定した結果、日常生活の状態が不安や抑うつを予測できる重要な因子であることがわかった。

● 柿内 香保里（理学療法士）  
慢性呼吸器疾患患者における6分間踏み台昇降テスト—第2報—

平地歩行テストができないような限られたスペース（例えば在宅での運動耐用能）の測定方法について踏み台昇降テストを行い、測定前後の脈拍や酸素飽和度、Borg Scale値などを平地歩行時と踏み台昇降時で比較した結果、両テストは同様の結果を示した。今後は呼気ガス分析装置を用いて今回よりも幅広くテストを行い、テストの有効性を検討したい。

● 板木 雅俊（理学療法士）  
咳嗽力における頸部角度の影響

頭の傾け方と咳嗽力（咳をする力）との関係性を明らかにするため、健常者を対象に頸部の角度によって咳をする力と咳の出しやすさを評価した。その結果、頸部の角度に対する咳嗽力と咳嗽困難感に有意差が認められた。このことから理学療法において、頸部の関節可動域を評価し、正常な可動域を維持することが重要であると思われる。

● 加賀美 由旗（ケアマネージャー）  
在宅酸素療法患者の外出に影響を及ぼす要因の検討

在宅酸素療法患者は、息切れによる外出頻度の減少からADL低下をきたしやすい。そこで在宅酸素療法患者の外出行動を自立群と要介助群に分け、2006年4月～2009年12月までの間、老研式活動能力指標の得点と手段的ADL・知性能動性・社会的役割の三項目の得点を合計した点数で検討した。その結果、44ヵ月後の外出要介助群に各得点の低下が顕著に現れた。今後は、外出頻度の低い在宅酸素療法患者が安心して外出できる社会資源の活用を広げ、生活能力の維持を図ることが重要だと考える。

## 長崎大学 千住秀明教授が会長をされ、 同門の夢塾の皆様が熱い心が伝わる学会となりました

今回は当院へ優秀な理学療法士を派遣していただいている長崎大学大学院医歯薬学総合研究科の千住 秀明教授を会長として開催されました。

当院は呼吸器の専門病院として、患者さんへより良い医療を提供するためにどのような支援ができるのかを日々考えながら業務に取り組んでいます。学会は、その取り組みや活動を様々な病院が集まり発表し合うことで医療社会全体の質の向上や自己研鑽につながる貴重な場になります。今後もこのような場に積極的に参加し、常に患者さんの立場に立った思いやりのある医療を行って参りたいと思います。



千住 秀明教授



### — 学会後の懇親会にて —

千住先生御一門の夢塾の皆様方のパワーにより、素晴らしい学会となりました。懇親会も出島ワープを借り切ったの楽しい一夜となりました♪このような学会での活動により新たなパワーを受け、それを患者さんに返していきたいと考えています！



懇親会で他病院スタッフとも交流を深めることができ様々な情報交換の場になります♪



当院で理学療法士をしていた川俣教授と大池准教授と一緒に

## 睡眠時無呼吸治療用マウスピースの作成専門の 睡眠歯科外来を再開しました！



外来担当医；津田 綾子（九州大学病院口腔総合診療科助教）

診療内容；いびき、睡眠時無呼吸症の治療のためのマウスピース作成

診療時間；土曜日 午前（1～2回/月） ※完全予約制

患者さんへ；8月よりマウスピースの外来を担当させていただくことになりました。同じ病院施設内で医科と歯科が連携できる利点を活かして、総合的に病状や問題の解決に取り組める診療を目指して頑張りたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします！

《一般用》 《睡眠時無呼吸用》

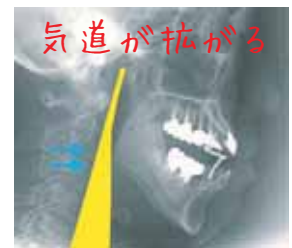


いびき、睡眠時無呼吸治療に用いるマウスピースは歯ぎしり防止用やスポーツ選手用のものとは異なった形状をしています（上図参照）。

《マウスピース装着前》



《マウスピース装着後》



マウスピースを装着することで、下あごを前方に数ミリ出して気道を確保し、睡眠中の喉の狭窄・閉塞を防ぎます。

※ マウスピースの利点としては、小型であり外出先への持ち運びが便利であること、費用が比較的安価であること、手術や薬物に比べて体への負担が少ないこと等ありますが、一方で重症無呼吸や歯周病がある患者さんには適さない（効果が見られない）等の欠点もあります。使用をご検討の方はぜひ一度、睡眠歯科外来を受診されることをおすすめいたします☆



### このような方にオススメ

- ・軽度の無呼吸症候群・旅行用や出張用に使いたい人
- ・肥満の程度が低い人・REM睡眠の時だけ無呼吸になる
- ・横向きに寝ると無呼吸にならない人

### オススメできない方

- ・重度の無呼吸症候群・鼻づまりのある人
- ・重度の歯周病がある人・歯の本数が少ない人
- ・アゴの関節に痛みや障害がある人

### ◎マウスピースが出来るまで◎

《診察1回目》  
診察・マウスピースの型取り



《診察2回目》  
マウスピースのお渡し



費用は約1万円  
(3割負担の場合)

注意；治療用マウスピースを作成するにはいびきや無呼吸の程度や他の合併症を把握するためのPSG検査が必要になります。まずは睡眠外来を受診する必要があります。

※診療内容や診療回数により、負担費用が変わることもございますのでご了承ください。

## 津田 綾子先生の論文が“CHEST”に掲載されました！

当院で2年以上CPAPを使用している患者さんの顎や顔の骨格への影響について検討した論文が、アメリカ胸部内科学会（ACCP）の機関誌である「CHEST(2010年10月号)」に掲載されました。ニューヨークタイムズのHealthDayや日本のメデカルトリビューンからの取材も受けました。

在宅酸素友の会「ひまわり」バスハイク報告

# バスは行く！

第24回 ～ 西長門リゾート・角島の旅 ～

2010年10月13日 参加者 20名  
スタッフ 10名



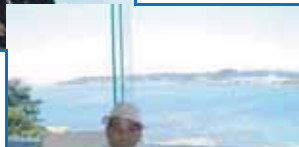
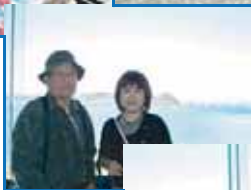
早いもので、患者会バスハイクも第24回を迎えることができました。  
24回目の目的地は、山口県下関市にある西長門リゾートホテルと真っ青な海に囲まれた角島へ♪  
当日は雲ひとつない爽やかな青空で、海の色がとても綺麗に映えた一日でした。

西長門リゾートホテルは、コバルトブルーやエメラルドグリーンに輝く海、角島に架かる大橋も一望できるため、みなさん到着早々すばらしい景色に目を奪われていたのが印象的でありました。

お楽しみの昼御膳は、新鮮な食材をふんだんに使った和洋折衷の品々が出てきて、  
これまでのバスハイクで一番豪勢で美味しいと感動の声があちらこちらから♪  
また、恒例のおみやげコーナーでは「これぞ旅行の醍醐味！」という  
にふさわしい量のおみやげを買われて、みなさん満足されたのではない  
でしょうか☆☆☆☆ 参加された方々、お疲れ様でした！

バスハイクは病院スタッフも同行するため、在宅酸素の  
患者さんも安心して参加していただけてます。今後も、  
看護部長を中心にいろいろな場所を企画していきますので、  
参加ご希望の方はスタッフまでお声かけください♪

次回もお楽しみに♪



豪勢な昼御膳

窓から流れてくる心地良い潮風を感じながらいただきました♪



露天温泉風呂

眼下に広がるのは紺碧色の海と果てしなく続く水平線・・・非日常感を体験できます。。。

## ～ バスハイクに参加した患者さんより ～

7～8回バスハイクに行くけれど、今回は空が透き通るほどの天気の良い日で海はベタ凩、もし地球が平らだったなら遙か彼方の島まで見えそうなくらい綺麗でびっくりしました。日本海のほうは汚れが少ないのかなあ・・・とか、掃除が行き届いているのかなあ・・・とかいろんなことを考えながら一時間ほどボーッと眺めていました。また春に連れて行ってください。

村上 政勝



村上さん(左)と池尻PTのツーショット☆

## NHK 放送 “きょうの健康” にご出演されました

当院で木曜日午後の外来を担当する久留米大学医学部の相澤久道教授がNHK教育テレビ『きょうの健康』にご出演されました。

COPD に関して日本の第一人者と言われている相澤教授ですが、番組内では「階段で息切れを感じたら」「生活を楽しむ工夫」「進行を止める治療」という3つのテーマで早期発見から治療内容などをわかりやすく話されていました。



久留米大学医学部 相澤 久道 教授

## ウォークラリーで優勝しました!!

NPO 法人日本呼吸器障害者情報センター主催の第3回ラングウォーク「COPD みんな de 万歩計ラリー」におきまして、当院で呼吸リハビリテーションに励まれている上原 政昭さんと近藤 敏郎さんが各部門で優勝という輝かしい成績を収めました!



左より) 近藤さん、上原さん  
受賞おめでとうございます☆

## 地域活動のご紹介

～当院が参加した地域活動のご紹介をさせていただきます～

恒例となった「元気まるかじりウォーキング」、今年も運営のお手伝いをさせていただきました。今回はウォーキング終了後にカレーライスをいただき、地域の皆さんもお互いが交流を深める良い機会になったのではないのでしょうか☆ 今後も地域福祉の推進・皆さんの健康の増進に尽力して参りたいと思います。



準備運動は  
しっかりと!



ウォーキング後のカレーは最高!!



参加した地域の皆さんで記念撮影☆



左より) 津田院長、宮川教授、一場助教  
金田 PT、末松 MSW、廣畑事務部長

COPD の患者さんは、呼吸困難が起こるとそれによって基本動作が制限され、活動能力の低下や全身状態の低下が引き起こされるという悪循環に陥ります。COPD の患者さんにとって楽に呼吸が行える姿勢(リラクゼーション肢位)がどのような姿勢であるのかという内容の研究が行われました。当院においても COPD の患者さんを対象にご協力いただきました。ありがとうございました。

## トピック 当院を最近訪問された方々



草加内科呼吸ケアクリニック 新先生ご夫妻



八女 姫野病院 御一行様

このほか、筑豊病院の川波先生やNTT 東日本東北病院の方々が、当院で実施している呼吸ケアおよび呼吸リハビリテーションの見学に来院されました。

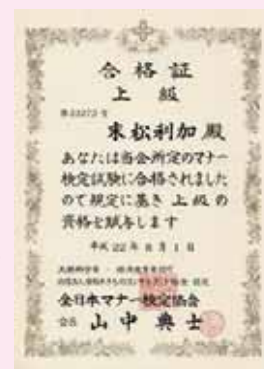
## トピック 心を癒す医療サービスを・・・

### ソーシャルワーカーの末松 利加が上級マナー検定に合格しました

「病院における最大のサービスは“治療や看護を提供すること”です。しかし、より積極的なサービスの質の向上を実現するうえで、接客対応能力はなくてはならないものだと思います。

そこで、私は10年前から接客インストラクターとして接客教育に取り組んで参りました。この度、正しいマナーを確認するために、また知識や実践力をつけるために全日本マナー検定を受検し、初級・中級・上級に合格致しました。

この受験で学んだことを少しでも多くの職員に伝えていくことが私の使命だと考えています。これからも病院職員として、人として、言葉と心を大切に、心ある対応に努めて参りたいと思っております。」 末松 利加



## トピック 連携室だより

地域医療連携室をご利用ください。

《患者さんへ》

- ・入院や退院に関するご相談
- ・在宅での医療・介護に関するご相談
- ・福祉に関するご相談（各種助成や申請など）

《医療機関の方へ》

- ・患者さんのご紹介（入院・外来）
- ・専門医療に関するご相談（呼吸リハ・睡眠障害など）

－ ご相談は下記の電話番号または外来受付・各病棟スタッフまで－

### 新任紹介



(医療ソーシャルワーカー)  
大森 繁樹

### － スタッフ －

看護部門	中山 初美（看護部長）
医療福祉部門	末松 利加（医療ソーシャルワーカー） 大森 繁樹（医療ソーシャルワーカー）
事務部門	廣畑 正己（事務部長） 坂上 香代（医事課） 横佐古真喜（医事課）

霧ヶ丘つだ病院  
地域医療連携室

Tel. 093-921-0438

Fax. 093-921-0439

## 外来担当のご案内

### 【外来担当表】

2010. 6. 21

下記の担当医は、都合により変更になる場合がございます。その場合は他の医師が診察いたしますのでご了承ください。  
**水曜の夜は19:30まで**一般内科外来を受け付けています。勤め帰りの方もご利用ください。

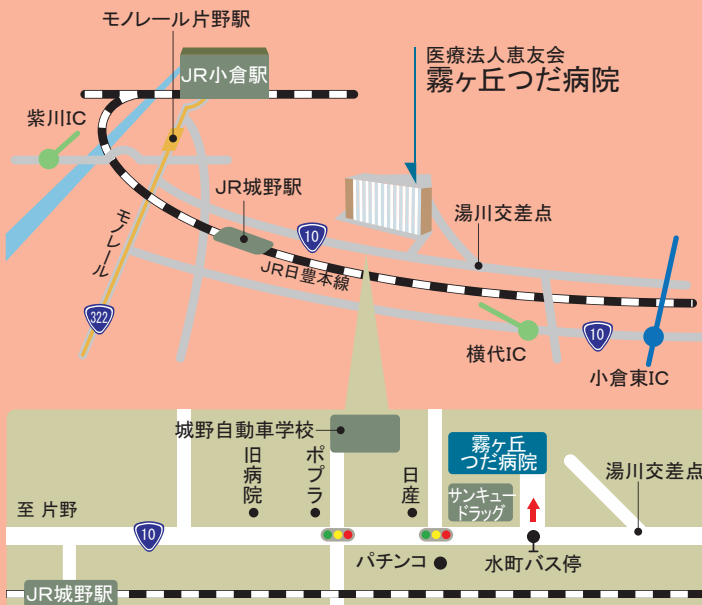
	午前 (9:00~12:00) 受付は 11:30まで	午後 (14:00~17:00) 受付は 16:30まで	(17:30~20:00) 受付は 19:30まで
月	津田 徹 自見 勇郎 (~10:30) 増井 太郎 (10:30~)	一木 克之	
火	津田 徹 一木 克之 良永 倫子	リウマチ外来 加茂 洋志 自見 勇郎	
水	午前外来休診	浅井 友香里 [九大呼吸器科] 島内 真基子	一般内科・呼吸器外来 津田 徹 (一木 克之) 一般内科・糖尿外来 市野 功 [九州労災病院]
木	津田 徹 良永 倫子 自見 勇郎 (10:30~)	喘息・呼吸器外来 相澤 久道 [久大1内科教授] リウマチ外来 加茂 洋志 自見 勇郎	
金	津田 徹 一木 克之 島内 真基子 (10:30~)	坂崎 優樹 [久大1内科]	
土	自見 勇郎 / 一木 克之 [隔週] 島内 真基子 / 坂崎 優樹 [交替] 睡眠呼吸障害優先外来 津田 徹 [第1, 3, 4土曜] 北村 拓朗 [第2土曜] (睡眠耳鼻科) 津田 緩子 [月2回: 予約制] (睡眠歯科)		(注) 院長の外来診療は、予約制となります。

※月に一度、最初の診察日には**保険証**を忘れずご持参ください。

※日曜、祝日、土曜午後、水曜午前は休診です。(その他の休診日については、その都度掲示致します)

※睡眠呼吸障害外来の初診は月~土の全診療時間で行っております。

※当院にお掛かりの方で喘息の発作その他緊急時には、夜間でも電話(952-1304)をかけてご来院ください。



医療法人恵友会  
霧ヶ丘つだ病院

ほっとホーム霧ヶ丘  
恵友会デイサービスセンター  
訪問看護・ヘルパー・ケアプランステーション

発行日 : 2010年11月1日

編集発行人: 松田 和人

発行所 : 医療法人恵友会

〒802-0052

北九州市小倉北区霧ヶ丘3-9-20

Tel. 093-921-0438 Fax. 093-921-5988

ホームページ: www.k-you.or.jp

メール: info@k-you.or.jp